

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2295400143		
法人名	有限会社ジュコウ		
事業所名	あったか広場一会 (2F)		
所在地	静岡県島田市東町1116		
自己評価作成日	令和3年11月8日	評価結果市町村受理日	令和4年1月18日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kajirokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kanji=true&jiyosyoCd=2295400143-00&serviceCd=320&type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和3年11月23日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域に密着した活動・・・認知症サポーター養成講座、認知症カフェ、介護予防「しまトレ」を開催
 職員の質の向上・・・内部研修、外部講師による研修、外部講師への積極参加
 利用者の認知症の悪化予防・・・日々のカリキュラムを作成した「寺子屋」を開催し、その他習字・フラワーアレンジメント・踊り・体操等の活動を増やし認知症予防に取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

コロナ禍の影響で不安定になりがちな利用者の精神面のケアを第一に考える日々を過ごしています。恒例年中行事である梅ジュース、らっきょう漬けは無論のこと、フラワーアレンジメントや書道、J-POPダンスといったアクティビティを整え、「寺子屋」と命名した時間には算数、国語、なぞなどに取組んで、少しでも「会話と笑顔を」届けようと励んでいます。男性は2名のみ女性優勢の比率も背景にフラワーアレンジメントは人気で、居室に飾ってニコニコ眺める姿もあります。また代表者が民生委員をはじめとする地域の顔役であることから、駐車場を移動スーパーの停車場に貸すなど近隣住民との絆が年々深まっています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	サービスの意義や理念について職員にも目にする場所に掲示したり新任研修や全体会議などにて共有している	法人の理念は職員更衣室に掲示するとともに、職員は何かにつけ意見や考えに表しています。「一期一会」は耳馴染みのある言葉のため、管理者は浸透していると捉えており、特に職員が「よく観察できている」ときに手応えを感じています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	認知症サポーター養成講座、認知症カフェなど地域の方のために開催している。また入所者様が地域の方々と交流を持ち生活を送れるように心がけている	「空間がとれないとなかなか人が集まることは難しい…」事は課題でしたが、地域の薬局内のサロンを借りることができ、2月から認知症カフェの再開に至っています。その後緊急事態宣言時のみ休止したものの、なんとか定着しています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症カフェにて地域の方々に認知症の理解を深めて頂くよう講話をさせて頂いている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の中で行事・事故・苦情の報告を行いながら委員の意見を取り入れながら業務改善や生活の質の向上に取り組んでいる	代表者が民生委員なことプラスとなり、運営推進会議はさながら地域ケア会議のごとく地域に密接しています。現在人気スポットになりつつある移動スーパーの立ち寄り場所を当事業所の駐車場としたことも、運営推進会議で話し合われた事案です。	運営推進会議は職員を中心として隔月開催されていますが、コロナ禍を鑑み外部者を交えていないため、FAXシートやはがき、電話などで意見を収集する仕組みをつくることを期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市には、何でも相談し事業所の苦情やケアサービスについて積極的に伝え良好な関係を築くようにコミュニケーションをとっている	コロナ禍の中で移動スーパーの立ち寄り場所となって「公民館より集客がよい」との評判も上々で、開設以来認知症サポーター養成講座や認知症カフェなど行政が要望する地域貢献に応えてきたことの積み重ねによる信頼を感じます。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人の方針により原則行っていない。身体拘束廃止委員会を設立し拘束しない対策を講じている	身体拘束廃止委員会は、管理者や看護師など多職種の構成メンバーで3ヶ月毎に話し合いの場をもっています。またヒヤリハットの確認並びに事故対策検討委員会における協議も本件を適切に推進することの補完となっています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期研修にて職員全体に虐待防止について学ぶ機会を設け身体拘束廃止委員会の活動を通じ不適切な対応がないよう研修している		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者や職員は成年後見制度について研修を行い、学ぶ機会を作っている。必要があれば外部研修を行っている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、十分理解して頂けるよう心がけている。解らないことや疑問については、その都度対応している		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議への参加や担当者会議等入所者や家族等の意見の反映を行っている	通院の付き添いや衣替えの機会、電話でのやりとりで家族と情報交換するなか、本人の様子は職員から説明ができていたことから「面会ができるようになったら教えてほしい」という声が多く挙がっています。利用者からは食へのリクエストが絶えずあり、概ね応えています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議(月1回)やフロア一会議(月2回)開催し職員の意見を吸い上げる機会を設け体制の改善に取り組んでいる	全体会議が月1回あり、フロア(各ユニット)会議も別の日に設定され、議事録は回覧していません。キャリアパス、人事考課、介護プロフェッショナルキャリア段位制度も導入され、アセッサーも2名配してOJT体制を整え、サービスの質の向上が図られています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員がやり甲斐や向上を持つように資格手当や処遇改善費を設け、職場環境も子育て世代に優しい配慮を行っている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修には、積極的に参加し内部研修も研修委員を中心に職員教育の一環として通年を通して行っている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナで思うように交流はできていないが、他者の作った作品の展示などをお互いに配布したりしている		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	居室担当を決め、担当者が入所者に対して細やかな対応をしている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	居室担当及びケアマネージャーがしっかりと担当者会議等にて家族の困っている事や不安に耳を傾けている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者、ケアマネージャー2人で行いご本人と家族の意見が反映できるよう心がけている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	施設の中でその方ができる事を職員と共にやっている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月お便りを出し情報を共有。ご本人の状況については3ヶ月に一度手紙を出し、家族の支援が必要なときは電話かメールを連絡している		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	過去の生活歴等を情報収集し外出支援や人との関わり継続ができるよう心がけている	縁者は市内に住んでいる人ばかりではないため、友人や親戚への手紙は職員が手伝うことで可能としています。また金山寺やのり佃煮、ふりかけなどのご飯のお供もそれぞれの御用達でまかなうほか、韓国ドラマやのど自慢等TV番組も好みを反映させています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	おひとりおひとりの性格を把握した上で、職員が仲介になって利用者同士支え合うように努力している		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても関連施設の場合電話等にて状況の確認を行っている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	おやつや時間や食後のゆったりした時間を利用してご本人の思いや意向を確認している。困難な場合は、ご家族と相談して検討している	入浴で心身が緩むときや、少人数でおこなう脳トレで折り紙をしなから、「何食べたい?」「どこ生行きたい?」といった投げかけをしています。また食事前には「今日は何の日?」「家ではどんなことやってた?」との回想タイムを設けています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時ご本人、ご家族様及びケアマネジャーから情報を収集させて頂いている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の状況観察と経過報告をし現状の暮らしの把握に努めています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議を開催しご家族様の意向を聞き、フロア会議にて職員と話し合い計画作成をしている	情緒面にも着目した「楽しみをつくる」介護計画書が作成されています。ユニット会議でカンファレンスをおこない、担当者会議には看護師にも出席してもらってはいますが、家族には郵送と電話のコロナ禍対応となっています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	経過記録、排泄、日報申し送りの記録等経過記録等、情報の共有を図り介護計画等に活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族が送迎できない場合の病院の受信や買い物等サービスの多機能化に取り組んでいる		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	移動スペースなど依頼しご本人が楽しむことを支援している		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医には受診時必ず報告書を作成し現状について報告し、必要があれば看護師が同席し適切な医療が受け入れられるよう支援している	利用者は在宅の頃のかかりつけ医師を継続する人ばかりです。家族の付き添い通院には「利用者近況報告」を準備するとともに、必要があれば事業所看護師も同行し、医師から適切な診断が得られるよう配慮しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師に日常の状況を伝え毎日申し送りしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時介護サマリーを作成し情報交換に努めている。退院時は必ずカンファレンスを行っている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人、ご家族の意向を伺い主治医の意見を踏まえチームとして支援に取り組んでいる	看取りは開設から2例あり、希望があればターミナルケアをおこなう方向にありますが、関わっていると「点滴を受けさせてやりたい」との気持ちにかられることもあり、積極的とはいかない面もあります。実績はここ1年ありません。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応マニュアルを定期的に確認している。年一度必ず全職員が救急救急講習の資格を更新している		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	毎回2回必ず避難訓練を実施し火災や地震の対応方法を確認、日常の点検に努めている	日中における地震からの火事想定で訓練計画を立て、消防署職員にはコロナ禍でも指導してもらっています。職員全員が消火器を使えることを確認のうえ、利用者も伴い第一避難所である近隣小学校へは徒歩での試し避難もおこなっています。	福祉避難所となっていますので、改めて備蓄や一覧表の管理が適切かを見直していくことを期待します。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格を尊重し、入浴排泄に関しては、同性介助を行いプライバシーの確保に努めている	管理者からはトイレのドアにおける羞恥心配慮は繰り返し指導しています。また日勤、遅番などシフトを職員が工夫、連携して入浴時の同性介助の実現を図っています。居室で脱ぎだす症状の人には、誰も見てはいないものの職員がタオルで覆うなどしています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人が自己決定できるよう個別に関わり支援を行っている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	レクリエーションや運動や入浴等ご本人にお話をさせていただき、ご本人の意向に沿って支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ヘアーカット、カラー等ご本人と相談してご本人の好みに合わせている。服装も相談して毎日決めている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	おやつや食事の献立を職員と一緒に考え作っている。また食事の準備やかたづけも職員と一緒にしてもらっている	ミキサー食や刻み食となった人の色合いや盛り付けに苦心しています。その一方で、梅が実る頃には梅ジュースをつくり、らっきよを漬けると「カレーライス作ろうか」となり、おやつにはスイートポテトやたこ焼きetc.と、食への探求に勤しんでいます。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事量、水分量を記録し把握している。月一度体重測定をし健康管理に努めている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを実施し、入れ歯の方や、解除の必要な方に対しそれぞれ歯ブラシ、スポンジ歯ブラシで使用している		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄やチェックシートにそれぞれの排泄パターンを印、声掛け、トイレ誘導を実施している	和式のやり方が記憶に残っているのか、タンクにしがみついて排尿して溢れさせてしまう例もあり、症状が難儀な人もいますが、職員がイヤな顔をせず対応してくれるとともに、「辞めたい」と言わないでいてくれることに管理者は感謝しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェックシートに排泄便を記入し、排便がない場合は、水分、食事で調整、腸管運動を実施しそれでも出ない場合は、医師、看護師の支持にて内服薬にて調整している		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	一人一人の体調、希望に合わせて個浴、機械浴を実施。入浴時には、会話を交え週3回個々に沿った入浴を支援している	入浴は週3回と、多くの事業所より1回多く実施して清潔を担保しています。「ゆったり、ゆっくり入ってもらおう」ことを旨に、「(人が入っていると入りたくなる人もいます)私も入る」にも対応し、時節風呂の菖蒲や柚子も取入れ、お風呂を堪能してもらっています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の体調を把握し足浴やシャワーにて気持ちよく眠れるように支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師が徹底して管理し介護職員に指示している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人の役割をご本人と話し合いお盆拭き、掃除等を一緒にやったり、気分転換として散歩やドライブ等で支援している		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ渦なので遠出は控えているが、近隣への散歩は、毎日出かけるように支援している	裏手には向日葵、秋桜の花畑も拡がり、季節を愛でる散歩には事欠きません。大井神社への車中初詣を励行し、焼津港などへ降りないドライブ実施にも努めています。ヘルストロンは再開していませんが、移動スーパーの立ち寄りでの賑わいは続いています。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人の希望により少額入った財布を管理していただき、毎週金曜日に訪問スーパーで買い物ができるよう支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	一部の入居者様は、携帯やタブレットを所持していただき電話やメールができるようにしている。コロナ渦の中、家族やお友達との手紙のやり取りができるよう支援している		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各フロアに温度計を設置し温度湿度の管理を行っている。臭いに関しても定期的な換気、空気清浄機を設置対応している。季節感については掲示物等にて工夫している	レクリエーションの時間では赤富士の大作(ちぎり絵)やフラワーアレンジメントに取組み、各居室やリビングを飾っています。またクリスマスが近いからとセントポーリアも置かれ、季節の花に囲まれて気持ちよく過ごせる空間があります。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースだけでなく地域交流室等一人一人の空間取りや気の合った利用者同士でお話ができるよう座席の工夫をしている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に自宅で使用されていた物を持ってきていただいたり、生け花や、ご本人が作成したものを掲示したり居心地よく過ごせるように工夫している	どの居室にも家族写真が置かれるほか、冷蔵庫、ハンガーラック、仏壇、遺影、テレビ、ラジオ、ラジカセ、携帯と様々なものが持ち込まれています。また車いすを使うようになった利用者の居室は動線が十分確保できるよう、居室担当者を中心に見直しをおこなっています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全に自立した生活が送れるようにテーブルやいすの配置しトイレには、大きくトイレの看板や張り紙をしてご自身で間違えることなく行けるよう工夫している		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2295400143		
法人名	有限会社ジュコウ		
事業所名	あつたか広場一会 (3F)		
所在地	静岡県島田市東町1116		
自己評価作成日	令和3年11月8日	評価結果市町村受理日	令和4年1月18日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kajirokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kanji=true&jiyogyoCd=2295400143-00&serviceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和3年11月23日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域に密着した活動・・・認知症サポーター養成講座、認知症カフェ、介護予防「しまトレ」を開催
 職員の質の向上・・・内部研修、外部講師による研修、外部講師への積極参加
 利用者の認知症の悪化予防・・・日々のカリキュラムを作成した「寺子屋」を開催し、その他習字・フラワーアレンジメント・踊り・体操等の活動を増やし認知症予防に取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

コロナ禍の影響で不安定になりがちな利用者の精神面のケアを第一に考える日々を過ごしています。恒例年中行事である梅ジュース、らっきょう漬けは無論のこと、フラワーアレンジメントや書道、J-POPダンスといったアクティビティを整え、「寺子屋」と命名した時間には算数、国語、なぞなどに取組んで、少しでも「会話と笑顔を」届けようと励んでいます。男性は2名のみ女性優勢の比率も背景にフラワーアレンジメントは人気で、居室に飾ってニコニコ眺める姿もあります。また代表者が民生委員をはじめとする地域の顔役であることから、駐車場を移動スーパーの停車場に貸すなど近隣住民との絆が年々深まっています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	サービスの意義や理念について職員にいつも目にする場所に掲示したり新任研修や全体会議などにて共有している		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	認知症サポーター養成講座、認知症カフェなど地域の方のために開催している。また入所者が地域の方々と交流を持ち生活を送れるように心がけている		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症カフェにて地域の方々へ認知症の理解を深めて頂くよう講話をさせて頂いている		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議の中で行事・事故・苦情の報告を行いながら委員の意見を取り入れながら業務改善や生活の質の向上に取り組んでいる		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市には、何でも相談し事業所の苦情やケアサービスについて積極的に伝え良好な関係を築くようにコミュニケーションをとっている		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人の方針により原則行っていない。身体拘束廃止委員会を設立し拘束しない対策を講じている		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期研修にて職員全体に虐待防止について学ぶ機会を設け身体拘束廃止委員会の活動を通じ不適切な対応がないよう研修している		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者や職員は成年後見制度について研修を行い、学ぶ機会を作っている。必要があれば外部研修を行っている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、十分理解して頂けるよう心がけている。解らないことや疑問については、その都度対応している		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議への参加や担当者会議等入所者や家族等の意見の反映を行っている		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議(月1回)やフロア一会議(月2回)開催し職員の意見を吸い上げる機会を設け体制の改善に取り組んでいる		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員がやり甲斐や向上を持つように資格手当や処遇改善費を設け、職場環境も子育て世代に優しい配慮を行っている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修には、積極的に参加し内部研修も研修委員を中心に職員教育の一環として通年を通して行っている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナで思うように交流はできていないが、他者の作った作品の展示などをお互いに配布したりしている		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	居室担当を決め、担当者が入所者に対して細やかな対応をしている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	居室担当及びケアマネージャーがしっかりと担当者会議等にて家族の困っている事や不安に耳を傾けている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者、ケアマネージャー2人で行いご本人と家族の意見が反映できるよう心がけている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	施設の中でその方ができる事を職員と共にやっている		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月お便りを出し情報を共有。ご本人の状況については3ヶ月に一度手紙を出し、家族の支援が必要なときは電話かメールを連絡している		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	過去の生活歴等を情報収集し外出支援や人との関わり継続ができるよう心がけている		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	おひとりおひとりの性格を把握した上で、職員が仲介になって利用者同士支え合うように努力している		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても関連施設の場合電話等にて状況の確認を行っている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	おやつや時間や食後のゆったりした時間を利用してご本人の思いや意向を確認している。困難な場合は、ご家族と相談して検討している		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時ご本人、ご家族様及びケアマネジャーから情報を収集させて頂いている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の状況観察と経過報告をし現状の暮らしの把握に努めています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議を開催しご家族様の意向を聞き、フロア会議にて職員と話し合い計画作成をしている		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	経過記録、排泄、日報申し送りの記録等経過記録等、情報の共有を図り介護計画等に活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族が送迎できない場合の病院の受信や買い物等サービスの多機能化に取り組み実施している		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	移動スペースなど依頼しご本人が楽しむことを支援している		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医には受診時必ず報告書を作成し現状について報告し、必要があれば看護師が同席し適切な医療が受け入れられるよう支援している		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師に日常の状況を伝え毎日申し送りしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時介護サマリーを作成し情報交換に努めている。退院時は必ずカンファレンスを行っている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご本人、ご家族の意向を伺い主治医の意見を踏まえチームとして支援に取り組んでいる		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応マニュアルを定期的に確認している。年一度必ず全職員が救急救急講習の資格を更新している		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	毎回2回必ず避難訓練を実施し火災や地震の対応方法を確認、日常の点検に努めている		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格を尊重し、入浴排泄に関しては、同性介助を行いプライバシーの確保に努めている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人が自己決定できるよう個別に関わり支援を行っている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	レクリエーションや運動や入浴等ご本人にお話をさせていただき、ご本人の意向に沿って支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ヘアカット、カラー等ご本人と相談してご本人の好みに合わせている。服装も相談して毎日決めている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	おやつや食事の献立を職員と一緒に考え作っている。また食事の準備やかたづけも職員と一緒にやっている		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事量、水分量を記録し把握している。月一度体重測定をし健康管理に努めている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを実施し、入れ歯の方や、解除の必要な方に対しそれぞれ歯ブラシ、スポンジ歯ブラシで使用している		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄やチェックシートにそれぞれの排泄パターンを印、声掛け、トイレ誘導を実施している		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェックシートに排泄便を記入し、排便がない場合は、水分、食事で調整、腸管運動を実施しそれでも出ない場合は、医師、看護師の支持にて内服薬にて調整している		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	一人一人の体調、希望に合わせて個浴、機械浴を実施。入浴時には、会話を交え週3回個々に浴った入浴を支援している		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の体調を把握し足浴やシャワーにて気持ちよく眠れるように支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師が徹底して管理し介護職員に指示している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人一人の役割をご本人と話し合いお盆拭き、掃除等を一緒にやったり、気分転換として散歩やドライブ等で支援している		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ渦なので遠出は控えているが、近隣の散歩は、毎日出かけるように支援している		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご本人の希望により少額入った財布を管理していただき、毎週金曜日に訪問スーパーで買い物ができるよう支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	一部の入居者様は、携帯やタブレットを所持していただき電話やメールができるようにしている。コロナ渦の中、家族やお友達との手紙のやり取りができるよう支援している		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各フロアに温度計を設置し温度湿度の管理を行っている。臭いに関しても定期的な換気、空気清浄機を設置対応している。季節感については掲示物等にて工夫している		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースだけでなく地域交流室等一人一人の空間取りや気の合った利用者同士でお話ができるよう座席の工夫をしている		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に自宅で使用されていた物を持ってきていただいたり、生け花や、ご本人が作成したものを掲示したり居心地よく過ごせるように工夫している		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全に自立した生活が送れるようにテーブルやいすの配置しトイレには、大きくトイレの看板や張り紙をしてご自身で間違えることなく行けるよう工夫している		